

## 簡易版ティーチング・ポートフォリオ（2020年版）

教授 田村 義文

### 1. 教育の責任

- (1) 食物栄養学科教職課程【栄養教諭二種】に関する科目「教師論」  
（1年次前期必修1単位）
- (2) 食物栄養学科教職課程【栄養教諭二種】に関する科目「教職実践演習」  
（2年次後期必修2単位）
- (3) 食物栄養学科教職課程【栄養教諭二種】に関する科目「教育課程論」  
（2年次後期必修2単位）
- (4) 食物栄養学科教職課程【栄養教諭二種】に関する科目「栄養教育実習」  
（2年次後期必修2単位）
- (5) 経営法学科教職課程【中学校教諭一種，高等学校教諭一種】に関する科目「教育課程論」（1年次後期必修2単位）
- (6) 経営法学科教職課程【中学校教諭一種，高等学校教諭一種】に関する科目「教育方法論」（2年次後期必修2単位）
- (7) 授業以外での学生指導
  - ・入学前サポートプログラム「課題図書レポート」指導，「天声人語の書き写しノート」指導
  - ・リメディアル講座アカデミックライティング指導
  - ・オープンキャンパス「小論文対策」
  - ・進路相談会における「小論文対策」
  - ・学生相談

### 2. 教育の理念と目的

- (1) 教職志望の学生に対する「教育の理念と目的」は，「教育基本法」等に基づき，今日的な教育の動向を踏まえ，栄養教諭の資格取得者として，「豊かな人間性」「実践的な専門性」「開かれた社会性」を發揮しながら，児童生徒・家庭・地域に向けて「建学の精神」を生かした食育の指導・広報活動ができるような学生の育成である。
- (2) 中学校・高等学校教諭として，新学習指導要領改定の基本方針に基づいた「社会に開かれた教育課程」「育成を目指す資質・能力の明確化」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」「カリキュラム・マネジメントの推進」「教育方法と教育技術の実践力の育成」等を実践できる学生の育成を目指した。

### 3. 教育の方法

- (1) 「教師論」では

教職の社会的な意義，今日の栄養教諭に求められる役割，資質・能力や職務，児童生徒の心に寄り添う多面的な理解等，教員としての全般的な仕事について理解を図っている。これらの中で，特に使命感・責任感・教育的愛情の芽を培うことについて，醸成を図っている。

- ・「教育基本法，食育基本法」などから，食育の現状と課題，栄養教諭の役割と職務内容を学ぶ。
- ・テキスト「新しい時代の教職入門」から，専門家としての教師，授業づくりの基本などを学ぶ。
- ・テキスト「食育の授業づくり」，学習指導案の実践例から，より具体的な授業づくりを学ぶ。
- ・図書資料などから，実際の授業に活用できる資料作成を実践する。

(2) 「教職実践演習」「栄養教育実習」では

- ・教育実習記録を用いて，授業チェックシートで授業を振り返ることにより，自己課題をまとめる。
- ・自己課題を基に，テーマを選んで「食育指導案」を作成する。
- ・栄養教育実習に向けた指導案を検討・作成する。

(3) 「教育課程論」では

教職の社会的な意義，今日の教師に求められる役割，資質・能力や職務，生徒の心に寄り添う多面的な理解等，教員としての全般的な仕事について理解を図るとともに，教育課程の法的定義から，学習指導要領を用いて教育課程の実際までを学ぶ。

- ・テキスト「ワークで学ぶ教育課程論」から，教育課程の法的定義などの基礎を学ぶ。
- ・小学校学習指導要領から，小学校における教育課程の実際を学ぶ。
- ・中学校学習指導要領から，中学校における教育課程の実際を学ぶ。
- ・高等学校学習指導要領から，高等学校における教育課程の実際を学ぶ。

(4) 「教育方法論」では

学習指導要領の改訂に伴い，「カリキュラム・マネジメント」，「アクティブ・ラーニング」の取組をも含めた授業力・教科指導力の育成を目指し，教育方法概論，教育方法の諸理論，授業における諸スキル，教育メディアの活用，指導や学習における組織の在り方，教育評価を学ぶ。

- ・学校教育における教育方法と歴史を学ぶ。
- ・授業における教師の役割と指導技術について学ぶ。
- ・教育メディアとその活用について学ぶ。
- ・教育における評価について学ぶ。
- ・授業実践に向けた授業計画，評価計画等について学ぶ。

- (5) 入学前サポートプログラム「課題図書レポート」指導、「天声人語の書き写しノート」指導では  
学習の基礎となる「読む力」「書く力」の向上を図る。
- ・課題図書「子どもはみんな問題児。」を読んで、小論文を作成する。
  - ・課題文章「天声人語」を読んで、書き写し、単語の意味調べ、要約の作業を行う。
- (6) リメディアル講座アカデミックライティング指導では  
大学・短大で必要になる日本語表現力の向上を図る。
- ・敬語、文法、語彙・言葉の意味、表記・漢字、総合問題の再学習。
  - ・日本語検定3級への挑戦。
- (7) 学生相談では
- ・毎月学生相談室と健康管理室の合同会議（総勢13名）を開催し、両室利用状況の共通理解を図り、課題や傾向などに対応する。
  - ・経営法学部全学生の出席率や取得・履修単位数のデータを基に呼び出し指導や面談を行う。
  - ・随時学生の申し出による相談を行い、生活全般の支援を行う。
  - ・経営法学部の要支援学生、随時学習・生活支援や編入試験のための小論文指導を行う。
- (相談件数のべ151件、相談学生数104名 2021.2.26現在)

#### 4. 評価と成果

- (1) 「教師論」では  
教職の社会的な意義、今日の栄養教諭に求められる役割、資質・能力や職務、児童生徒の心に寄り添う多面的な理解等、教員としての全般的な仕事についての中で、特に使命感・責任感・教育的愛情の芽を培うことについて、醸成を図った。
- 次の点を評価と成果とする。
- ・「食育基本法」から、食育の現状と課題、栄養教諭の役割と職務内容を学ぶことができた。
  - ・テキスト「新しい時代の教職入門」から、専門家としての教師、授業づくりの基本などを学ぶことができた。
  - ・テキスト「食育の授業づくり」、学習指導案の実践例から、より具体的な授業づくりを学ぶことができた。
  - ・図書資料などから、実際の授業に活用できる資料作成を実践することができた。
- ◇「授業改善アンケート」結果 2020.8 「総合的に判断すると良い授業か」5.00
- (2) 「教職実践演習」「栄養教育実習」では

- ・教育実習記録を用いて、授業チェックシートで授業を振り返ることにより、自己課題をまとめることができた。
- ・自己課題を基に、「食育指導案」を作成することができた。
- ・指導案を検討・作成し、有意義な教育実習を終えることができた。

(3) 「教育課程論」では

教職の社会的な意義，今日の教師に求められる役割，資質・能力や職務，生徒の心に寄り添う多面的な理解等，教員としての全般的な仕事について理解を図るとともに，教育課程の法的定義から，学習指導要領を用いて教育課程の実際までの理解を図った。

次の点を評価と成果とする。

- ・テキスト「ワークで学ぶ教育課程論」から，教育課程の法的定義などの基礎を学ぶことができた。
- ・小学校学習指導要領から，小学校における教育課程の実際を学ぶことができた。
- ・中学校学習指導要領から，中学校における教育課程の実際を学ぶことができた。

◇「授業改善アンケート」結果 2020.8 「総合的に判断すると良い授業か」 4.50

(4) 「教育方法論」では

学習指導要領の改訂に伴い，「カリキュラム・マネジメント」，「アクティブ・ラーニング」の取組をも含めた授業力・教科指導力の育成を目指し，教育方法概論，教育方法の諸理論，授業における諸スキル，教育メディアの活用，指導や学習における組織の在り方，教育評価の理解・実践力の育成を図った。

次の点を評価と成果とする。

- ・学校教育における教育方法と歴史を学ぶことができた。
- ・授業における教師の役割と指導技術について学ぶことができた。
- ・教育メディアとその活用について学ぶことができた。
- ・教育における評価について学ぶことができた。
- ・授業実践に向けた授業計画，評価計画等について学ぶことができた。

(5) 入学前サポートプログラム「課題図書レポート」指導，「天声人語の書き写しノート」指導では

文章の要約や小論文の作成によって，学習の基礎となる「読む力」「書く力」の向上を図ることができた。

(6) リメディアル講座アカデミックライティングでは

内容ごとに6回の指導により，大学・短大で必要になる日本語表現力の向上を図ることができた。

◇「日本語検定3級受検」結果 2020.6.18

受検者全体 得点率70%以上 3名(7%) 60%以上20名(44%)

幼児保育学科受検者 31名 得点率 58.7% (前回より4.7%UP)

看護学部受検者 13名 得点率 60.0%

◇「受講者アンケート」結果 2020.7 (全6回の平均値)

理解できたか 「理解できた」60.0% 「やや理解できた」25.8% 計85.8%

役に立ったか 「とても役に立った」50.1% 「役に立った」32.7% 計82.8%

(7) 学生相談では

要支援学生経法1年18名、経法2年23名、経法3年11名、経法4年6名、その他1名を担当し継続的に学習支援を行った。

また、随時学生相談に応じ、学生相談チームとして学習支援・進路支援・生活支援をのべ151件行った。(2021.2.26現在)

## 5. 今後の目標

授業の理解度を向上させるため、次の点に工夫・配慮する。

- ・学習内容の理解を深めるため、毎時間使用している学習プリントをより取組やすく、分かりやすくする。
- ・学習プリントを毎時間提出させ、学生の理解度・到達度等を把握し、指導に役立てる。
- ・授業内で、読む、書く、発表する、話し合う活動を取り入れる。
- ・導入で、一般常識問題(教員採用試験の過去問題)を行う。
- ・終末で、学習を振り返る活動を取り入れる。
- ・教え合い、話し合う活動により、学習に取り組む雰囲気をつくる。
- ・学習規律を守らせ、高まり合う学習集団づくりを進める。

## 6. 根拠資料

- ① シラバス、ガイダンス資料
- ② 前期末レポート(前期試験)、後期末レポート(後期試験)
- ③ 「教育課程論」授業レポート、「教育実践演習」授業レポート
- ④ 「教師論」授業レポート
- ⑤ 「教育方法論」提出レポート
- ⑥ 「学生相談室・健康管理室合同会議資料」  
「学生相談記録」